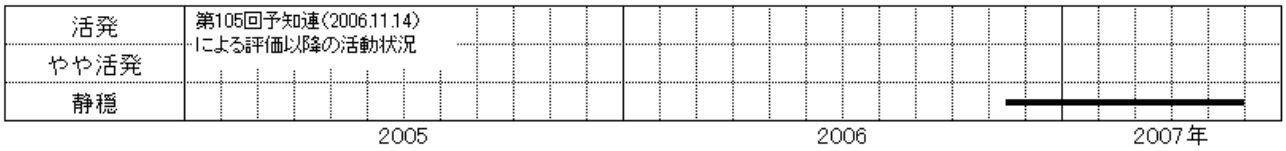
箱　根　山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。



最近の活動状況の推移

○ 概況

・噴気など表面現象の状況（図１）

環境省インターネット研究所の箱根・大涌谷カメラでは、大涌谷の噴気等に特段の異常は認められませんでした。

・地熱及び噴気地帯の熱の状況（図２）

24 日に上空からの観測（神奈川県の協力による）を実施しました。箱根山周辺の地熱及び噴気地帯（大涌谷、早雲山、湯ノ花沢付近）では、地表面温度分布[1)]に特段の異常は見られませんでした。

1）赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震や微動の発生状況および地殻変動の状況（図３、図４）

箱根山付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

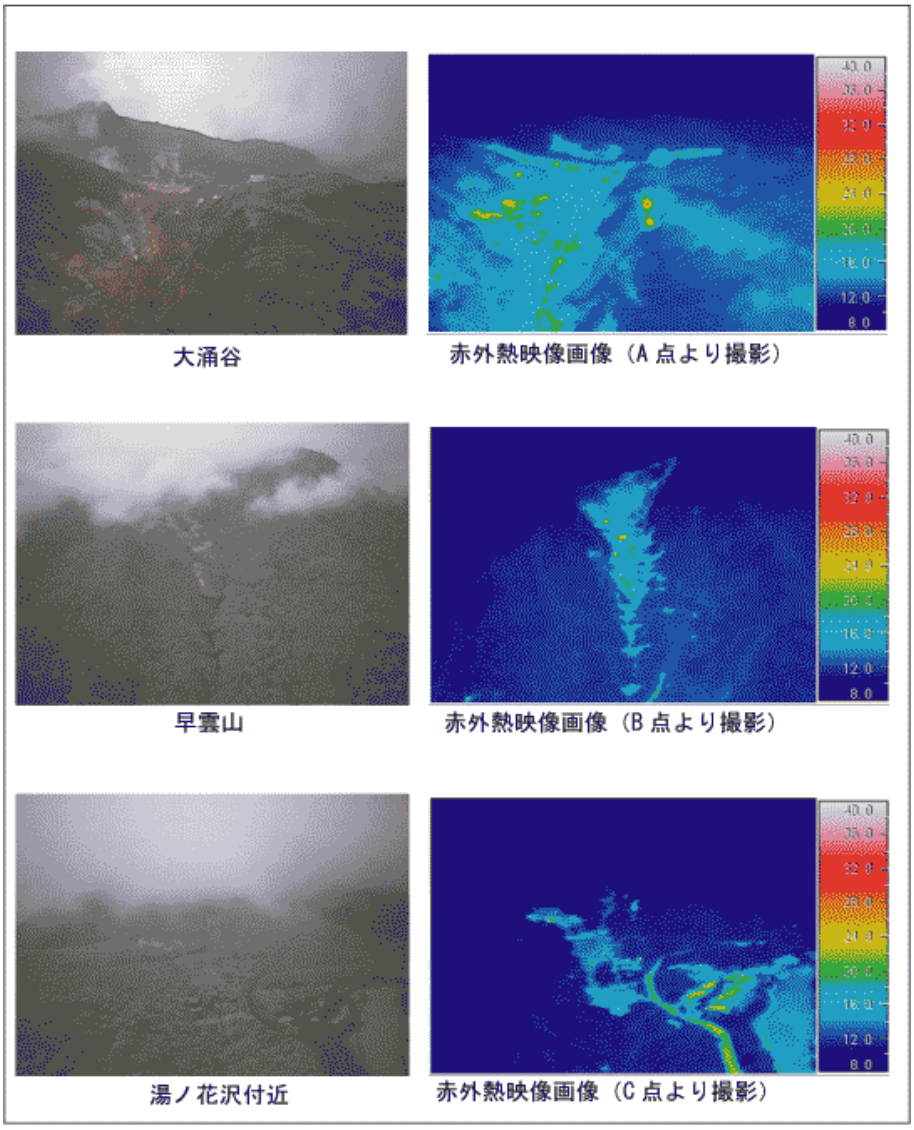
気象庁が湯河原に設置している体積歪（ひずみ）計[2)]では火山活動によると見られる変動は認められませんでした。

2）センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

図１※　箱根山　大涌谷の状況（５月 31 日、箱根・大涌谷カメラによる）

※ この資料は気象庁のほか、環境省インターネット研究所、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。



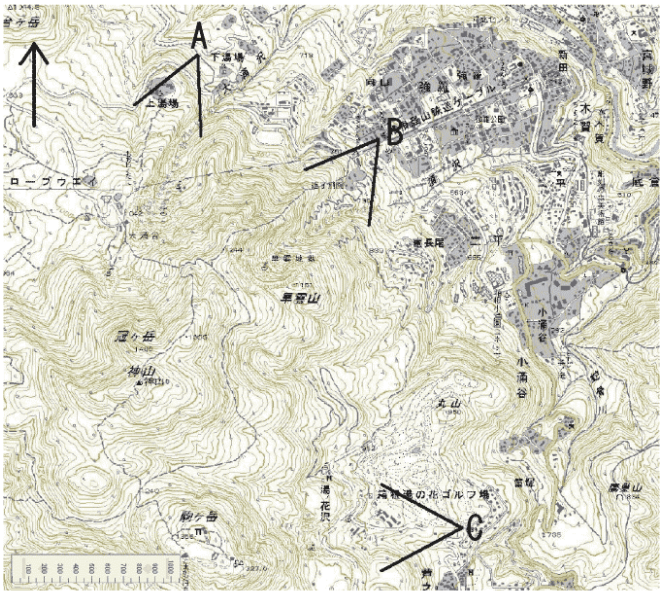


図２　地熱及び噴気地帯の地表面温度分布[1)]（右）

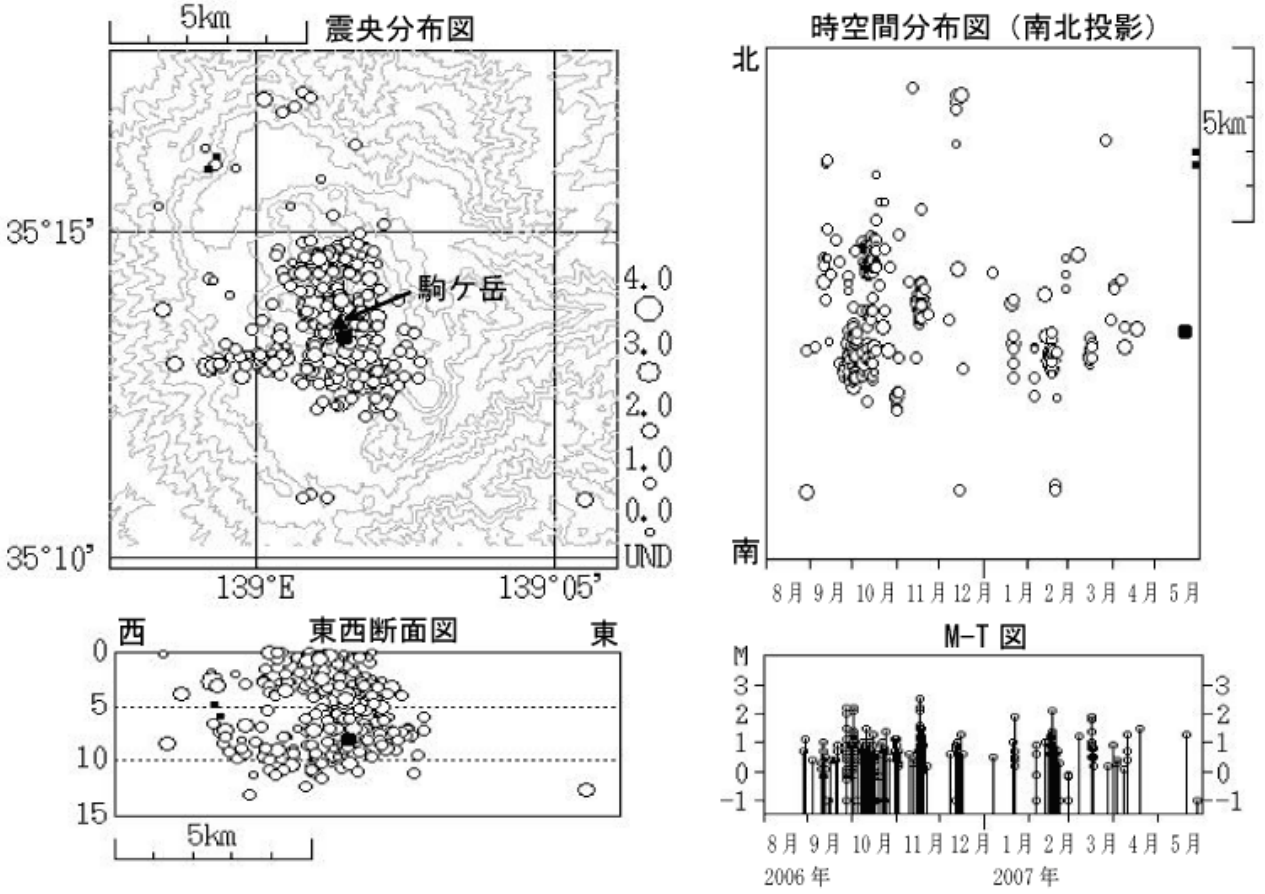


図３※　箱根山　地震活動経過（2006 年８月１日～2007 年５月 31 日）
○：2006 年８月１日～2007 年４月 30 日　●：2007 年５月１日～2007 年５月 31 日

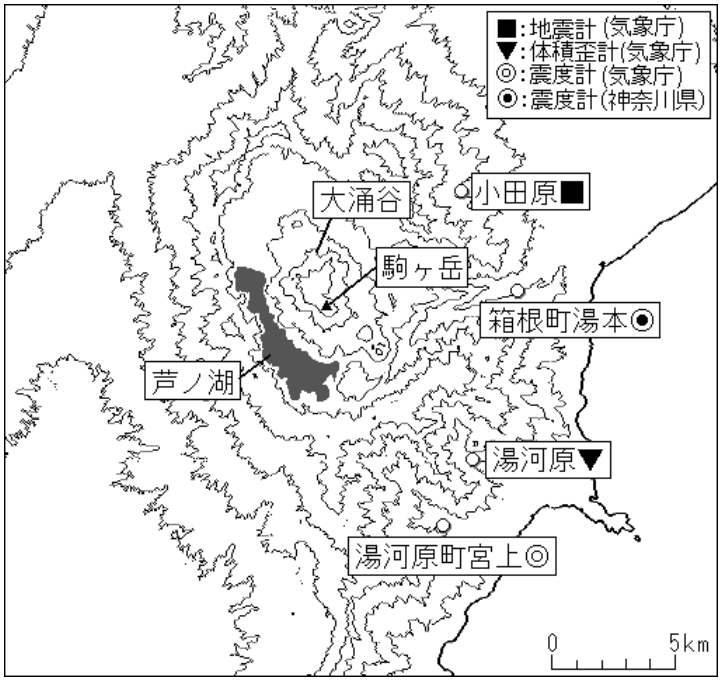


図４　箱根山　気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
なお、図中には神奈川県の震度観測点も含めてあります。